

令和4年度第3回青梅市図書館運営協議会会議録

令和5年3月14日（火）午後6時

青梅市中央図書館多目的室

1 あいさつ

会長

2 報告事項

(1) 指定管理者による図書館の管理運営について

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

(委員) 11月から全8回に渡り音訳者養成講座がありましたが、音訳は、会話のようであったり、ただ文面を読めばよいというものではなく、技術が必要だと思います。その点で、障がい者福祉課と図書館の共催で初級講座が開催されたことは良かったと思いますが、できれば予算を確保して、中級、上級の講座も開催して欲しいと思いました。

図書館での音訳活動として、音訳の会によるデイジー資料の作成があり、年に8冊ほど作成した資料は、障害者に提供しています。また、今年から国会図書館のデータベースでデイジー図書の情報提供できるようになり、音訳活動の励みになっています。

(委員) 「プライバシーマーク」とは何ですか。

(指定管理者) 日本工業規格というところが制定している個人情報の扱いについての基準で、年に1回の講習が義務付けられています。講習を終了すると事業所に「プライバシーマーク」が交付されます。交付されたマークは本社に保管しています。

(委員) 報告書は2月までですが、3月に入り、東日本大震災等の防災に関する企画は、図書館で開催していますか。

(指定管理者) 中央図書館では、防災に関する展示を実施中です。分館の企画については3月分について最終的な集約ができていませんが、9月にも各館で防災に関する展示等を行っています。

別件ですが、来年度、図書館では、図書館スタッフ研修として消防署を招いてAEDの研修を予定しています。

- (委員) 救急救命講習は、第七中学校の3年生が受験が終わってから普通救命救急の講習を受けています。図書館スタッフにそのような経験があると、非常時のケアの仕方も変わってくると思います。非常に良い事だと思います。
- (委員) 幼児預かりサービスは、何人位の子どもたちを預かっているのか。また、保護者は館内にいる状態なのでしょうか。
- (指定管理者) 1枠1時間ずつで、コロナ前は4人預かっていましたが、現在は基本的に2名を受入れています。ただし、きょうだいであれば3人受入れということもあります。保護者が館内で図書等を利用していただくための託児です。
- (事務局) 幼児預かりサービスは、基本的には第三月曜日を除く月曜日の午前10時から午後2時まで、先着順で受付けています。
- (委員) 11月5日に「吉川英治記念館で読書案内」の開催がありました。イベントでは、吉川英治氏の読書エピソードや書齋にある書籍の紹介などを、記念館のスタッフが行いました。その後、図書館スタッフによるおはなし会で絵本の読み聞かせ等もあり、非常に充実した事業でした。親子連れでの参加もありました。
- (委員) 12月29日の中央図書館年末開館の状況と効果について教えてください。
- (指定管理者) 平日と土曜日の貸出数の中間位の利用数で、多くの方に利用していただきました。通常の開館時間より3時間短縮した開館でしたので、その部分が課題だと思います。
- (委員) スタッフの方の身体の負担もありますので無理のない程度にと思いますが、市民の利用意欲が数値として表れているので、今後も効果が上がる方法を考えて欲しいと思います。
- (事務局) 年末開館は、試行的という形で2回目の実施になりました。委員のおっしゃるとおりスタッフの負担もありますので、試行としてあと1、2回実施し、利用者アンケート結果等を元に、今後の実施について検討したいと考えています。
- (委員) 学校司書活動報告がありましたが、ポップ展やビブリオトークなどは、美術科や国語科とも連携しているのが今風で素晴らしいと思いました。また、菊地玉雲さんのイベントは学校連携推進重点校だけでなく他校にも聞かせてあげたいと思いました。

(委員) 先日、大江健三郎さんが亡くなったという報道がありました。一般の書店ではすぐ追悼コーナーを作りますが、図書館ではそのようなコーナー作りに対応できていますか。もし、コーナーがあれば利用状況を教えてください。

(指定管理者) 各図書館の担当者がすぐに対応をして、翌日にコーナーを設置しました。利用状況については把握できておりません。

(事務局) P T Aで、図書館について話題が挙がることはありますか。

(委員) 学校図書館ではありませんが、保護者のボランティアが月に1回程度、中休みに学校での読み聞かせを再開しました。その他に整理や飾付けのボランティア活動をしています。

(会長) 事業報告書の「会議・研修」の欄によると、「多摩地域公立図書館大会第二分科会『地域資料の活用とデジタルアーカイブ』」に職員が参加されたようですが、この会議の内容について教えてください。地域資料の現状と課題について、示唆に富む内容でしたか。

一方、コロナ禍で減少した実績が、徐々に回復しているとのことですが、図書館の利用年齢層、特に高齢者の利用回復はしていますか。

また、再利用図書展示会に展示される図書はどのような基準でしょうか。中央図書館の出入口に、廃棄図書を自由に持ち帰れる再利用コーナーがありますが、再利用図書展示会后、余った場合はコーナーに出るという流れでしょうか。

(事務局) 研修については、当日資料が手元になく、すぐに御説明ができないため、後日、資料をお渡しさせていただきます。

(指定管理者) 高齢者の利用については、図書館では利用年齢の統計を取っていないので、把握はできていません。

再利用図書展示会の図書は、汚破損や経年による利用価値低下等の理由で図書館が廃棄した児童書の中から、再利用可能な図書を展示します。

(事務局) 廃棄図書の中でも、破損の激しいものや不衛生なものは展示せず、そのまま廃棄しています。アンケートで御希望があった紙芝居は、廃棄時点でボロボロになってしまっていて、数多く展示できない面があったと思います。

再利用図書展示会で利用されなかった図書は、中央図書館の再利用コーナーで展示し、市民に広く利用していただいています。

(委員) 再利用図書展示会で、参加団体は上手に図書を選んで持ち帰っていると聞いています。絵本は流行り廃りはないので、保育園では重宝しています。参加についても、早く行けば良い本が選べるというわけではなく、申込時間枠ごとに本を補充していることを園長会でお話させていただきました。

(2) 令和5年度図書館事業計画について

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

※質疑なし

(3) 青梅市図書館の休館について

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

※質疑なし

(4) 「第五次青梅市子ども読書活動推進計画」について

(事務局) [概要を口頭で説明]

※質疑なし

3 その他

(事務局) [5年度の組織改正、予算状況および事務連絡]

(会長) 青梅駅前の青梅図書館を新設する計画は、今の時点でいつ頃開館予定を目指していますか。

(事務局) 来年度5年度に基本設計、6年度に実施設計、予定では8年度4月に竣工という予定になっています。

再開発ビルの1階にテナントが入る予定で、2階の部分が図書館、3階以上が住宅です。

(会長) 以上で本日予定した案件は全て終了いたしました。委員の先生方には長時間に渡りましてご協議を賜り、大変ありがとうございました。

これをもちまして令和4年度第3回青梅市図書館運営協議会を閉会いたします。本日は大変ご苦勞様でした。

以上